【家庭科・小学５年・スッキリビフォーアフター（住まいの整理・整頓、清掃）】①

育成を目指す資質・能力

（知　・　技）住まいの整理・整頓や清掃の仕方についての基礎的な知識と，それらに係る技能
（思・判・表）住まいの整理・整頓や清掃の仕方について問題を見いだし，適切に解決する力
（主体的態度）家族の一員としてよりよい生活の実現に向けて，家庭で実践する楽しさや家族との関わりを感じながら，住まいの整理・整頓や清掃をしようとする態度

ICT活用のポイント

何度も繰り返すことができる整理・整頓のシミュレーション

1　本時のめあてをつかむ。

めあて：シミュレーションをしたり，実際に整理・整頓をしたりして，必要なものをすぐに取り出せる整理・整頓の仕方を見付けよう

2　シミュレーションや机の引き出しの整理・整頓をして，整理・整頓の仕方を話し合う。

3　本時の学習の振り返りをする。

事例の概要

ICT端末を用いた整理・整頓のシミュレーションや，机の引き出しの整理・整頓を基に，整理・整頓の仕方を話し合うことを通して，必要なものをすぐに取り出せる整理・整頓の仕方について，自分なりの考えをもつ

【事例におけるICT活用の場面①】

〇本時の活動の見通しがもてるように，ICT端末を用いて行う整理・整頓のシミュレーション画面を大型モニターで提示する。

【事例におけるICT活用の場面②】

〇整理・整頓の仕方を繰り返し試すことができるように，ICT端末画面で画像を動かしながら，個別に机の引き出しの整理・整頓のシミュレーションをする。

【家庭科・小学５年・スッキリビフォーアフター（住まいの整理・整頓、清掃）】②

【事例におけるICT活用の場面①】

大型モニターでの提示

【導入】　前時において，児童は，「自分の引き出しではなく，他のもので整理・整頓を試して，よい方法を見付けたい。それを，実際の整理・整頓に生かしたい」という意識をもった。そこで，全員が同じ状態の引き出しの整理・整頓を繰り返しシミュレーションできるように，ICT端末画面で操作できるスライドの引き出しを用意した。これにより，児童は，必要なものをすぐに取り出せる整理・整頓の仕方を見付けるという目的意識を明確にした。

【事例におけるICT活用の場面②】

シミュレーション

【展開】　シミュレーションを始め，「文房具を全て引き出しからいったん出して入れ直す」「いらないものだけを取り出す」「同じ種類のものを集める・重ねる」など，多様な方法で児童はシミュレーションを行った。そして，シミュレーション後や，シミュレーションの途中で，ICT端末画面を見せ合いながら，周りの児童とシミュレーションした結果を比較したり，それぞれの方法を伝え合ったりしていた。これは，全員が同じ状態の引き出しの整理・整頓を行うことで，結果を比較しやすかったことや，図形の移動や回転などの操作が容易であったため，他者の考えを聞いて，繰り返し試しやすかったからだと考えられる。

【活用したソフトや機能】

・プレゼンテーションソフト
※スライド作成画面での図形の移動や回転